

令和7年度

教育委員会事務事業の点検・評価報告書
(対象:令和6年度事業)

令和7年10月

田布施町教育委員会

1 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされています。

田布施町教育委員会(以下「町教育委員会」という。)では、法の規定に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、令和6年度の町教育委員会の事務事業の執行状況について点検及び評価を行い、教育に関し学識経験を有する者の知見を踏まえた上で、その結果をまとめましたので、報告します。

2 点検及び評価の実施

(1) 対象事業

令和6年度に実施した町教育委員会の事業のうち、「令和6年度田布施町の教育」に掲げる主要な事業を選定し、「田布施町総合計画」に定める具体施策ごとに分類して、点検及び評価を行いました。

(2) 評価の方法

事業の概要、実績、経費の執行状況、課題などを内容とする「事業の点検・評価票」を作成し、下記の評価基準に基づき、町教育委員会事務局が内部評価を行うとともに、評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者として町教育委員会が委嘱した3名の委員による外部評価を実施しました。

(評価委員)

| | |
|---------|-----------|
| 高 橋 邦 子 | 元田布施町教育委員 |
| 木 村 正 嗣 | 元中学校校長 |
| 谷 茂 子 | 元小学校教頭 |

(評価基準)

| | |
|---|------------------------------|
| A | 目的を達成できた。 |
| B | 取組における改善の検討はあるものの概ね目的を達成できた。 |
| C | 目的の一部を達成できたが、取組の改善が必要である。 |
| D | 目的の一部しか達成できず取組の抜本的な改善が必要である。 |

(3) 事業の一覧表

■ 学校教育課

【施策】学校教育の充実

| No | 事業名 |
|----|---------------------|
| 1 | 教育委員会運営事業 |
| 2 | スクールバス運行事業 |
| 3 | 小学校管理事業 |
| 4 | 小学校教育振興事業 |
| 5 | 中学校管理事業 |
| 6 | 中学校教育振興事業 |
| 7 | 保健関係事業 |
| 8 | 就学援助事業 |
| 9 | 教員補助者設置事業 |
| 10 | 幼児教育推進事業 |
| 11 | 生徒指導推進事業 |
| 12 | 学力向上推進事業 |
| 13 | 体力向上推進事業 |
| 14 | 特別支援教育推進事業 |
| 15 | キャリア教育推進事業 |
| 16 | コミュニティ・スクール(CS)推進事業 |
| 17 | 学校給食センター運営事業 |

■ 社会教育課

【施策】社会教育施策の充実

| No | 事業名 |
|----|------------------|
| 18 | 生きがい教室開催事業 |
| 19 | 学校・家庭・地域連携協力推進事業 |
| 20 | 二十歳のつどい開催事業 |
| 21 | 人権教育推進事業 |
| 22 | 青少年の健全育成事業 |
| 23 | 部活動地域移行推進事業 |

■ 社会教育課

【施策】文化の継承と振興

| No | 事業名 |
|----|--------------|
| 24 | 地域公民館まつり開催事業 |
| 25 | 公民館運営事業 |
| 26 | 公民館施設管理事業 |
| 27 | 図書館管理運営事業 |
| 28 | 郷土館管理運営事業 |
| 29 | 埋蔵文化財調査事業 |
| 30 | 町史編修事業 |
| 31 | 麻里府公民館移転整備事業 |

■ 社会教育課

【施策】スポーツの振興

| No | 事業名 |
|----|----------------|
| 32 | スポーツ推進体制強化事業 |
| 33 | 生涯スポーツ推進事業 |
| 34 | 我がまちスポーツ推進事業 |
| 35 | スポーツセンター管理運営事業 |

3 点検及び評価の結果

(1) 事務事業の評価結果集計(全体)

| 評価対象年度 | 業務評価 | | | | |
|-----------------|---------------|---------------|-----------|-----------|---------------|
| | A | B | C | D | 計 |
| 令和6年度 (構成比%) | 25 (71.4%) | 10 (28.6%) | 0 (0%) | 0 (0%) | 35 (100.0) |

(2) 事務事業の点検・評価票

【No. 1】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 教育委員会運営事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

教育委員会会議の開催や教育委員の研修及び学校訪問等

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 706 | 706 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--------------------|----|-------------------------------|
| 1 | 教育委員会会議及び協議会(3回開催) | 4 | 教育委員研修会 |
| 2 | 総合教育会議開催(2回開催) | 5 | その他教育関係行事参加 (小中学校卒業式、運動会等) |
| 3 | 教育委員学校訪問(町内小中学校) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 田布施町教育振興基本計画の2年目にあたり、計画に沿って順調な取り組みができている。 |

5 事務事業の今後の課題

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況について適正な点検及び評価を行い、今後の教育行政に反映する取組を進めている。また、総合教育会議を2回開催し、「家族でやま学の日」、いじめ問題・不登校対策、全国学力・学習状況調査など現状や課題について町長部局との連携を図った。

令和5年度新たに令和9年度までの5年間の「田布施町教育振興基本計画」を作成。4つの柱として施策を展開することとし、本町教育の充実・発展に努める。

【No. 2】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | スクールバス運行事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

学校の統廃合等により、遠距離通学となる児童生徒の通学条件の緩和を図るため、町所有のスクールバス2台及びタクシーの運行を交通業者に委託

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 10, 700 | 8, 105 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------------|----|-----------|
| 1 | 対象児童生徒の登下校の送迎 | 4 | 水泳授業に係る送迎 |
| 2 | 校外活動での送迎 | 5 | |
| 3 | 部活動での送迎 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 安心・安全な運行が図られている。 児童生徒数の減少に伴う効率化が図られるとともに、水泳授業の送迎など学校の諸活動に活用されている。 |

5 事務事業の今後の課題

令和5年度までは、小行司便（東田布施小学校・田布施中学校）、国木・竹尾便（田布施西小学校）、麻里府便（麻郷小学校）の3便を運行していたが、令和6年度から、小行司から通学する児童・生徒が見込まれないため、小行司便を廃止した。木地自治会の児童については、ルート変更した西小便の利用により継続利用を可能とし、令和6年度からは、田布施西小・東田布施小便、麻郷小便の2便を運行し、遠距離通学の児童生徒の通学条件の緩和や登下校の安全を図った。

また、小学校の水泳授業をスポーツセンターで実施するにあたり、スクールバスで児童の送迎を行った。令和7年度からは、全小学校の児童の送迎を行うため、関係機関と連携を図り、調整を行う必要がある。

【No. 3】

| | | | |
|------|---------|-----|-------|
| 事務事業 | 小学校管理事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|---------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|------------------------------|
| 所管する4小学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う |
|------------------------------|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 23, 986 | 24, 455 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------------|----|--------------|
| 1 | 小学校管理業務(光熱水費) | 4 | 小学校整備事業(備品) |
| 2 | 小学校整備事業(修繕) | 5 | 小学校管理業務(委託料) |
| 3 | 小学校整備事業(工事) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|------------------------------|
| A | 各校の老朽化に対して、整備・修繕が計画的に行われている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| 今後も各学校の老朽化に伴う修繕に対応するとともに、大規模改修を計画的に進める必要がある。 |
|--|

【No. 4】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 小学校教育振興事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

児童、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 152 | 3, 760 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|----------|----|----------------|
| 1 | 理科振興備品整備 | 4 | 陸上記録会／総合的な学習支援 |
| 2 | 図書室用図書整備 | 5 | 各種負担金、補助金 |
| 3 | 教材備品整備 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| B | 必要な備品の整備を今後も進めていただきたい。 古い本を整理し、図書の充実に努めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

理科振興備品における最重点備品の整備率の向上を図るため、計画的に整備を進めており、今後も着実に取り組みを継続していくことが必要である。

学校図書は、学校図書館図書標準に定める必要数を1校(東小)が満たしていない。今後、学級数減少に伴い必要数を満たす見込である。しかし、蔵書には出版から20年を超える古い本が多いため、図書の入れ替えに継続的に取り組む必要がある。

【No. 5】

| | | | |
|------|---------|-----|-------|
| 事務事業 | 中学校管理事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|---------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|-----------------------------|
| 所管する中学校の施設維持管理及び学校設備等の整備を行う |
|-----------------------------|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 14, 858 | 16, 593 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------------|----|--------------|
| 1 | 中学校管理業務(光熱水費) | 4 | 中学校整備事業(備品) |
| 2 | 中学校整備事業(修繕) | 5 | 中学校管理業務(委託料) |
| 3 | 中学校整備事業(工事) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|----------------------------------|
| A | 老朽化に伴う修繕など、限られた予算の中で計画的に対応されている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---------------------------------------|
| 老朽化に伴う修繕に対応するとともに、大規模改修を計画的に進める必要がある。 |
|---------------------------------------|

【No. 6】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 中学校教育振興事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

生徒、教職員の教育振興・充実を図る事業等である。主なものは、総合的な学習の時間等関係経費、教職員研修会等への補助金

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 244 | 3, 630 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--------------|----|-----------|
| 1 | 理科振興備品整備 | 4 | 総合的な学習支援 |
| 2 | 図書室用図書整備 | 5 | 各種負担金、補助金 |
| 3 | 教材備品・部活動備品整備 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--------------------------------|
| B | 古い本を整理し、図書の充実に継続的に取り組んでいただきたい。 |

5 事務事業の今後の課題

理科振興備品における最重点備品の整備率の向上を図るため、計画的に整備を進めており、今後も着実に取り組みを継続していくことが必要である。

学校図書は、学校図書館図書標準に定める必要数を満たしている。しかし、蔵書には出版から20年を超える古い本が多いため、図書の入れ替えに継続的に取り組む必要がある。

【No. 7】

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 事務事業 | 保健関係事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|--------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|---|
| 学校保健安全法に基づく小中学校児童生徒や教職員に係る各種健康診断等の実施及び学校環境衛生基準の維持 |
|---|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 584 | 3, 656 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|----------|----|------------------|
| 1 | 教職員健康診断 | 4 | フッ化物洗口指導(新1年生対象) |
| 2 | 児童生徒健康診断 | 5 | 医師による食物アレルギー研修会 |
| 3 | 就学時健康診断 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 健康診断の実施や、適切な学校環境への対応がなされている。 教職員のメンタルヘルスへの取り組みも行われている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>学校保健安全法に基づく学校医、学校歯科医による健康診断事業を今後も確実に定期的に継続する。</p> <p>学校環境衛生基準に定められている換気、採光、照明等について、学校薬剤師の指導助言を基に学校の適切な環境の維持・改善に努める。</p> <p>教職員の長時間労働に対する医師からの面接指導や、ストレスチェック利用の体制を充実させ、早期に自らの心身の状況への気付きを促していく。</p> |
|--|

【No. 8】

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 事務事業 | 就学援助事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|--------|-----|-------|

1 事務事業の概要

経済的な理由による就学困難な児童生徒の保護者に対して、必要な援助をする。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 9, 798 | 10, 282 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-------|----|-------|
| 1 | 就学援助 | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 事業が確実に実施されている。 今後も申請漏れのないように、周知徹底に努めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

学校教育法第 19 条の規定に基づき、経済的理由によって就学困難な児童生徒の保護者に対して充実した支援を行った。援助を受けるにあたり、毎年申請が必要である。申請漏れを防ぐため、広報やホームページに事業案内を掲載し、更に、新入学予定者及び田布施町内の各小中学校に通っている全児童・生徒に対して案内文を配付する等、制度の周知徹底に努めている。

また、令和8年から、就学事務システムの標準化（国が定める標準様式に適合したシステムへの切り替え）が実施される。全自治体で統一的な手続きを実施可能とし、手続きの簡素化により住民サービスの向上を図ることを目的とされており、本町も標準化に向け、整備する必要がある。

【No. 9】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 教員補助者設置事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|---|
| 特別な教育的支援を必要とする児童の、学校教育に適応できる環境を整えることにより、きめ細かな指導を行う。 |
|---|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 8, 196 | 10, 731 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------|----|-------|
| 1 | 教員補助者設置 | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 各学校の実情・要望等に基づき適切な対応がなされている。 今後も人材確保に努めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| 通常学級においても支援の必要な児童生徒が増加傾向にあり、学校から配置増の要望が高まっている。学校における困り感を正確に把握し、適正かつ継続的に配置が出来るよう予算及び人材の確保に努める必要がある。 |
|--|

【No. 10】

| | | | |
|------|----------|-----|-------|
| 事務事業 | 幼児教育推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

幼児期の教育の重要性を再認識し、幼児一人ひとりの個性を尊重するとともに、社会生活における望ましい習慣や態度を育成する。また、幼児教育の質の向上を図り、幼児期から連続性・一貫性のある教育の充実に努める。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 396 | 348 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------------|----|------------------------------|
| 1 | 柳井市幼児ことばの教室との提携 | 4 | 小中学校教員による園訪問 |
| 2 | 園訪問(次年度就学児情報収集) | 5 | 1年生「スタートカリキュラムの作成」及び取組に対する指導 |
| 3 | 保幼小連絡協議会の開催 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---------------------------------------|
| B | 町民福祉課と連携しながら、カリキュラムの作成を進め、実践に生かしてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

幼保園と小学校のなめらかな接続のために県教育委員会が作成を推奨している「架け橋期のカリキュラム」の作成にとりかかることを課題としている。そのためにはまず、各園との協議、保育士、教員への周知及び研修を行ったり、関係教職員間が相互理解を深めたりして、カリキュラム作成への機運を高めていく必要がある。町民福祉課との連携の下、幼保園及び学校の共通理解を得た上で実務担当者と具体的なカリキュラムの作成に取り組んでいく。

【No. 11】

| | | | |
|------|----------|-----|-------|
| 事務事業 | 生徒指導推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

児童生徒が互いの心身を大切に尊重し合える学校づくりや、小中学校で一貫した指導体制の確立、また、いじめや不登校への早期発見・早期対応により、個に応じたきめ細かな支援体制を確立する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 1, 675 | 847 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------------------------|----|---------------------|
| 1 | SC、SSWの積極的な活用 | 4 | 町民福祉課との情報交換実施 |
| 2 | 早期発見のためのいじめアンケート実施、教育相談等の充実 | 5 | 田布施町いじめ問題対策連絡協議会の開催 |
| 3 | ケース会議の開催 | 6 | 小中連携推進連絡協議会の開催 |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | SC、SSWの活動が円滑に行われている。 令和6年度より中学校にステップアップルームが設置され、生徒の居場所づくりに寄与している。 |

5 事務事業の今後の課題

- ・SC活動件数 のべ90回 ※不足していたため、9月補正により20時間追加
- ・SSW活動件数 のべ61. 5回出勤

小学校と中学校の不登校児童・生徒の総数は、減少傾向(小学校9人・中学校9人)にある。「人間関係」による要因が多く、続いて「学業不振」を要因とした理由が多い。また最近の傾向では、児童生徒の中には長時間のスマートフォン利用やゲーム等で生活習慣が乱れ、寝不足から体調を崩すといった児童生徒も少なくない。また、令和6年度から中学校にステップアップルームが設置され、生徒の居場所づくりとして機能しており、その成果が出てきた。

暴力行為は小学校で25件発生した。自制できずに、生徒間でむやみに手を出すという事案が発生している。中学校では4件発生している。原因は人間関係のトラブルから友人に対して手を出すということが多い。相手を逆撫でることを言うなど、ソーシャルスキルの未熟さが感じられる。

いじめの認知件数は、小学校では昨年度より増加傾向となった。毎週いじめアンケート実施することで、どんな小さな事案でも積極的に認知する意識は高い。今後も、各学校・関係機関や専門家との連携を密にし、早期発見・早期対応はもとより、個に応じたきめ細かな支援体制の強化を図っていく。

【No. 12】

| | | | |
|------|----------|-----|-------|
| 事務事業 | 学力向上推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

学校の組織的な取組、授業改善を含めた工夫や教員一人ひとりの授業力向上、学習環境づくりに努めるとともに、学習習慣の確立と主体的な学習態度の育成を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 9,435 | 9,019 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--------------------------|----|-------------------------|
| 1 | 県派遣指導主事人件費 | 4 | 授業改善、学力向上のための情報共有と指導・助言 |
| 2 | 指導主事の学校訪問による指導、支援 | 5 | 町学力向上担当者会議の開催 |
| 3 | 校内研修(研究授業及び一人一授業)への指導・助言 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | <p>「やまぐち学習支援プログラム」等を活用して、各学校での実践により成果も上がっているが、成績分布の二極化の解消への取り組みをさらに進めてほしい。</p> <p>若手教職員が多い中、児童生徒の学習意欲や学力向上に向けて、授業や学級経営について校内指導体制を工夫し、研修などに取り組んでいただきたい。</p> |

5 事務事業の今後の課題

全国学力・学習状況調査及び山口県学力調査における町内児童生徒の平均正答率は、全国や県平均を上回る学校が多くなった。昨年度から「やまぐち学習支援プログラム」の収納ボックスを町内各学校へ配備し、計画的に実施した成果が少しずつ出たのではないかと考えている。しかしながら、上位層と下位層の二極化がまだまだ垣間見えるのが現状である。その対策の一環として、補充学習(朝学習や昼休み等を利用した抜き出し学習)の充実に向けた取組を各学校へ依頼しているところである。

町内では若手教職員が増加しており、人材育成に重点を置いた校内研修や一人一研究授業を実施することで、教職員の授業改善を進めるなど、持続的な研修体制の構築を図っていく必要がある。

【No. 13】

| | | | |
|------|----------|-----|-------|
| 事務事業 | 体力向上推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

体育の授業や町の体育的行事等を核としながら、体育的活動の充実を図るとともに、児童生徒の体力の向上を目指す。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | — |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------------------------------|----|-------|
| 1 | 「体力向上プログラム」の作成及び「1校1取組」に対する指導 | 4 | |
| 2 | 町内小学校陸上記録会へ小学校5,6年生が参加 | 5 | |
| 3 | 体力テスト等のデータ集積による課題把握、分析、取組に対する指導助言 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | 児童生徒の体力の実態と現状を把握し、各校単位、また町全体として、体力向上に向けて計画的に取り組んでほしい。また、体力向上の観点から、中学校の部活動地域移行の影響について今後検証していく必要がある。 |

5 事務事業の今後の課題

体力低下は町内でも大きな課題としてあげられる。町内のみならず、社会全体がゲーム機やスマートフォンをもつ子どもが増加している。友だちと外で遊んだり、野外体験を行ったりする子どもが激減している中で、如何にして体力の向上をめざすかが課題である。

町で「第2期田布施町スポーツ振興計画」や各学校で「体力向上プログラム」等を作成し、町全体としての取組・活動や始業前や行間体育、放課後等を利用して体力向上に取り組めるように推進しているところである。

【No. 14】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | 特別支援教育推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

児童生徒一人ひとりの障害の状況や教育的ニーズに対して、正しい認識と共通理解のもと、教育的支援を計画的に推進する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | — |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---|----|-------|
| 1 | 特別支援学級・通級指導教室の取組に対する支援(学校訪問・総合支援学校との連携) | 4 | |
| 2 | 教育支援委員会の開催 | 5 | |
| 3 | 校内コーディネーター研修会の開催(柳井地域合同開催) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | 支援を要する児童生徒の増加に伴い、校内支援体制の整備や担当教職員の資質向上などが急務となっており、さらなる推進体制が必要である。 スクールワイド PBS を全町で推進していく取り組みに期待する。 |

5 事務事業の今後の課題

支援を要する児童生徒が増加し、指導が困難なケースが増えてきている。また、経験の浅い校内コーディネーターが増えてきているなど、特別支援担当教職員の資質向上も急務となっている。各校への伴走支援として現場の状況に応じて地域コーディネーターなど関係機関と学校をつなぎ、教職員への専門的な研修・指導・支援ができるようにする。

スクールワイド PBS の取組を全町で推進していくため、その推進体制作りを令和7年度中に実施予定。

【No. 15】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | キャリア教育推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| 社会的・職業的自立に向けた勤労観、職業観等を身に付けるためのキャリア教育・職業教育の推進と進路指導の充実を図る。 |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | — |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-------------------------|----|-------|
| 1 | キャリア教育全体計画の見直し等に関する指導 | 4 | |
| 2 | 10歳の集い(1/2 成人式)、立志教育の奨励 | 5 | |
| 3 | 社会見学や職場訪問、職場体験に関する指導・助言 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 職場訪問、職場体験が実施され、キャリア教育やふるさとを愛する気持ちの育成が、各学校を中心に積極的に推進されている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>中学校においては職場訪問、職場体験を実施することができた。将来の自己の職業を見据えて、町内の事業所を中心に働くことの意義ややりがいを学ぶ活動となった。また立志式や1/2 成人式等も各学校で実施され、将来の自分を見つめ直すきっかけ作りになっている。</p> <p>また、各校、出前授業を実施するなど、地域人材を活用した教育活動の充実が見られた。今後は保護者や地域との連携をさらに深め、児童生徒のキャリアやふるさとを愛する気持ちを育成できる取組が実施できるようにしたい。</p> |
|--|

【No. 16】

| | | | |
|------|---------------------|-----|-------|
| 事務事業 | コミュニティ・スクール(CS)推進事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|---------------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| コミュニティ・スクールの仕組みを生かした学校・家庭・地域が連携・協働する体制づくりをめざし、学校を中心に世代を超えた新たな絆が生まれるように、地域総がかりによる学校支援や子どもの育成に努める。 |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 250 | 250 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------------------------------|----|-------|
| 1 | 地域連携教育の取組への指導・支援 | 4 | |
| 2 | 各校における「学校・地域連携カリキュラム」のマネジメントの進行管理 | 5 | |
| 3 | 学校運営協議会における指導助言 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 児童生徒が主体的に参加した熟議が行われ、地域住民と児童生徒の特長を生かした連携がさらに進んだ。また、「子どもが地域の先生プロジェクト」など、積極的な取り組みが行われている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---|
| <p>各学校運営協議会において、全ての小・中学校で児童生徒が参加した熟議が行われている。熟議で協議したことを児童生徒が主体的に実行に移し、成果を挙げている。また、「学校・地域連携カリキュラム」のマネジメントについて、地域協育ネット運営委員会と関連させて、各小・中学校とも見直しを図ることができた。令和7年度では、保幼小中連携を目指した、カリキュラムの作成に取り組む。</p> <p>今年度は中学校で、生徒とともに地域の大人が学ぶ、「子どもが地域の先生プロジェクト」にも参加し、大人が学校支援等において、生涯学習の成果を発揮するなど、学校における大人の学びの展開が求められている。また、各小・中学校で積極的に実践が図られるように学校運営協議会等に情報提供や指導・助言に取り組んでいきたい。</p> |
|---|

【No. 17】

| | | | |
|------|--------------|-----|-------|
| 事務事業 | 学校給食センター運営事業 | 担当課 | 学校教育課 |
|------|--------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|---|
| <p>成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全で美味しくバランスのとれた食事を提供することにより、健康の増進、体位の向上を図る。</p> <p>また、正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身に付け、「食べること」をとおして自然の恵みや人々の温かい心への感謝の気持ちを育てる。</p> <p>児童生徒が生涯にわたり健康で過ごすために、自己管理能力を身に付け、多様で個性豊かな教育的なねらいをもった学校給食を推進する。</p> |
|---|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 66, 038 | 70, 692 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|----------------------|----|-------|
| 1 | 地場産週間(年3回)への参画 | 4 | |
| 2 | 栄養教諭による小・中学校への給食巡回訪問 | 5 | |
| 3 | 給食調理配送業務委託 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | <p>安心・安全でおいしい給食が提供されており、地場産食材の使用率も高い。</p> <p>田布施町給食センターの平生町との共同利用の令和7年実施に向けての準備が進められている。</p> |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>調理業務等委託事業者と緊密に連携し業務の連携を図る。</p> <p>特に、調理上の衛生管理を徹底し、日々の給食を安全に提供できることに努める。</p> <p>また、地場産業者や田布施農工高校との情報交換、仕入れの連携を積極的に行い、高い地場産食材使用率を維持、推進する。</p> <p>田布施町給食センターの平生町との共同利用について令和5年度協定書を締結し、令和7年9月の稼働に向けて、引き続き運営面での準備と施設整備を進める。</p> |
|--|

【No. 18】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | 生きがい教室開催事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

60歳以上の町民を対象に、様々な分野の講師、指導者の講座により学習し、地域の人や子どもとのふれあいを深めることにより、町民の生きがいづくりを図る。

各地域の公民館と連携・協力し教室生を募り、講座の計画・立案等を行い、生きがい教室を月1回程度開催する。(講座運営費として年 1,500 円を徴収)

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 350 | 361 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|------------|----|------------|
| 1 | 城南生きがい教室 | 4 | 麻郷生きがい教室 |
| 2 | 西田布施生きがい教室 | 5 | 麻里府生きがい教室 |
| 3 | 東田布施生きがい教室 | 6 | 生きがい教室研修旅行 |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 参加人数はある程度維持されている。様々な内容を取り入れた講座を開催している。各公民館がお互いに情報共有をするなど内容の充実が図られている。参加者を増やそうとする試みは評価できる。参加者の高齢化に伴い送迎の課題があったが社会福祉協議会の協力が得られたようである。 |

5 事務事業の今後の課題

各公民館で情報共有をしながら、歌や制作活動、体操、レクリエーションなど様々な講座を開催している。毎年同じような内容にならないよう、講師の情報収集に努め、内容を充実させていきたい。

【No. 19】

| | | | |
|------|------------------|-----|-------|
| 事務事業 | 学校・家庭・地域連携協力推進事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|------------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| <p>地域協育ネット推進事業として、放課後子ども教室事業や学習・学校支援ボランティア、たくまるボランティアなどを実施する。また、家庭教育支援推進事業等では家庭教育支援チームによる支援事業を実施する。安全・安心な放課後の子どもの居場所づくりと子どもと地域の交流の場づくりや、子育てに悩む親への支援等を推進する。</p> |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 664 | 4, 356 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---|----|-------|
| 1 | 地域協育ネット推進事業 (放課後子ども教室事業、学習・学校支援ボランティア、たくまるボランティア、児童生徒ふれあい活動など) | 4 | |
| 2 | 統括コーディネーター設置事業 | 5 | |
| 3 | 家庭教育支援推進事業 (児童支援、子育て支援講座など) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 子どもたちの居場所づくりや地域の交流の場づくりができている。また、子どもたちの支援を通して大人の生きがいがづくりや町の活性化につながっている。中学生の「たくまるボランティア」では中学生も町の小さな指導者であるという視点があり、主体性を育てている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---|
| <p>児童・生徒と地域の方の学びと交流の場として、児童生徒ふれあい活動を開始した。令和6年度は防災をテーマに開催したが、今後は様々なテーマで取り組みを進めていく。また、たくまるボランティアの活動は「支援」だけでなく「運営」に携わることで中学生の主体性を育てていくものとなった。子ども達の活動がより充実したものになるよう、ボランティア人材や指導者の育成・確保に努める。</p> |
|---|

【No. 20】

| | | | |
|------|-------------|-----|-------|
| 事務事業 | 二十歳のつどい開催事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

新たに二十歳を迎える方の自主運営による二十歳のつどいを開催する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 1, 023 | 1, 074 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------|----|-------|
| 1 | 二十歳のつどい | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 企画運営が新たに二十歳を迎える対象者によって行われ、さらに、当日の司会等に中学生を参加させるなど町の若い力の育成につながっている。さらに大人の目から気づき等を取り入れ、より有意義な会にしてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

新たに二十歳を迎える方の有志による実行委員会形式で企画運営している。当日の受付や司会進行には、たくまるボランティアの中学生を起用し、中学生に二十歳のつどいを見てもらえる良い機会となっている。式典後には写真撮影や茶話会を企画し、久しぶりに会う同級生との交流を楽しむことができた。SNS 用のフォトブースや二十歳の20冊(本の紹介)、琉球國まつり太鼓による演奏も行われた。

参加者の友人が会場内や写真撮影時に紛れ込んでくるがあったため、他の参加者の迷惑にならないよう、会場の出入り等を厳重に管理する必要がある。

【No. 21】

| | | | |
|------|----------|-----|-------|
| 事務事業 | 人権教育推進事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

田布施町人権教育推進協議会が中心となって、人権学習講座、人権教育推進大会等を開催する。また、町広報への掲載等の活動により、人権啓発に努め、町ぐるみの人権学習を推進する。

地域では、各自治会に設置する社会教育部長を中心に地域懇談会や研修会を開催し、人権の啓発に努める。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 1, 558 | 1, 473 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------|----|---------|
| 1 | 人権教育推進協議会 | 4 | 地域懇談会 |
| 2 | 人権学習講座 | 5 | 社会教育部長会 |
| 3 | 人権教育推進大会 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | 人権学習講座への若年層の参加と参加者増、社会教育部長会の本来の趣旨の確認など多くの課題はあるものの地道に実施できている。講座への参加者を広げる方法として開催方法や内容の吟味などの工夫が必要である。 |

5 事務事業の今後の課題

人権学習講座への参加者拡大の取り組みとして町HPへの掲載やQRコードでの申込みを新たに始めたが大きな効果はなく、昨年度より参加者数は減少した。日中開催も検討したが参加者増の見込みが立たず全3回とも平日夕方での開催となった。これまでの課題である若年層の参加と参加者増については今後も継続して検討していく。

また、どの地域の社会教育部長も地域の人手不足から地域行事の運営補助が主な活動となっている。人権啓発や学習の機会について、本来の役割を明確に伝えていかなければならない。

【No. 22】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | 青少年の健全育成事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| <p>青少年健全育成町民会議やスカウト育成協議会など子ども達の育成に寄与する各種団体を支援する。青少年健全育成町民会議では、家庭充実の日の普及啓発やカヌーや地引き網などの体験活動、あいさつ運動、補導活動の他、小中学生から募集した青少年健全育成作文の作文集の作成や家庭充実の日ポスターのカレンダー作成などを行っている。</p> |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 920 | 920 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------------|----|-------|
| 1 | 青少年健全育成町民会議補助 | 4 | |
| 2 | スカウト育成協議会補助 | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 子どもたちが地域活動へ参加する機会を無くさぬように事業を継続している。さらに子どもの主体性を生かした活動内容の工夫などから参加者の広がりを期待したい。地域での安全パトロールが継続されているなど地道な活動も評価できる。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---|
| <p>青少年健全育成町民会議が実施する体験活動(カヌー、地引き網、凧作り・凧揚げ)は、参加者からの評判も良く、今後も内容を充実させながら継続していきたい。子ども会の減少やスカウト会員の減少など青少年活動が減少傾向にある中で、児童生徒ふれあい活動やキッズ教室など町が主体となって様々な活動を提供していくようになる。活動を継続していくためには、ボランティアや育成者などの協力者を発掘・育成していかなければならない。</p> |
|---|

【No. 23】

| | | | |
|------|-------------|-----|-------|
| 事務事業 | 部活動地域移行推進事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

「田布施町新たな地域クラブ活動の在り方等に関する方針」に基づき、「田布施町部活動の地域移行に関する推進協議会」が中心となり、学校関係者や地域の指導者と協議し、部活動の地域移行を推進する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | 2,137 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-----------------------|----|-------|
| 1 | 部活動地域移行コーディネーターの配置 | 4 | |
| 2 | 田布施町部活動の地域移行に関する推進協議会 | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | 多くの課題を抱える事業である。検討を十分に行い円滑な移行ができるよう期待する。 生徒数の減少や指導者の任用、家庭の事情など実施に向けて困難な点が予想される。 他の市町との連携も視野に入れ生徒の要望にできるだけ添えるよう努めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

令和5年度に地域の指導者や教員を対象に実施した部活動の地域移行に関するアンケート調査を踏まえて、本町における今後の段階的な取組について協議した結果、人材の確保や受益者負担金等の課題が挙げられたが、特に、外部指導者が不在の部や平日の指導が困難な部が多く見られた。

今後は、国の補助事業を活用した部活動指導員の任用や、複数指導者で運営していく体制づくりが必要である。

【No. 24】

| | | | |
|------|--------------|-----|-------|
| 事務事業 | 地域公民館まつり開催事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|--------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| 10月から11月の期間に各公民館で、公民館まつり実行委員会の企画運営により公民館まつり(文化祭・文化展)を開催する。 |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 400 | 400 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|------------------|----|---------------|
| 1 | 城南公民館まつり(文化展) | 4 | 麻郷公民館まつり(文化展) |
| 2 | 西田布施ふれあい文化祭(文化展) | 5 | 麻里府文化展 |
| 3 | 東田布施公民館まつり(文化展) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 高齢化が進む中、地域のふれあいの場として行事が継続されており、職員や中学生ボランティアの支援が大きな助けとなり、地域の励みや、担い手の育成につながっている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>たくまるボランティア(中学生ボランティア)の頑張る姿が地域の人々の励みになっており、世代での交流も生まれ、良い環境が出来ている。出店による役員の負担もキッチンカーの導入により軽減されつつあり、役員の高齢化対策のため今後はより負担の少ない形での運営が求められる。</p> <p>また、文化展で出展している作品が公民館内に展示されているが、屋外の出展や催しだけを楽しまれて帰る方も多いため、より多くの人に作品を見てもらい、作品の出展者の活動の励みとなるような工夫をしていきたい。</p> |
|--|

【No. 25】

| | | | |
|------|---------|-----|-------|
| 事務事業 | 公民館運営事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|---------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|---|
| 公民館運営委員会、実行委員会を開催し、球技大会、盆踊り大会、料理教室などのイベントを企画・運営し、講座室等の貸館業務などの一般事務を行う。 |
|---|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 27, 735 | 23, 074 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|------------|----|-------|
| 1 | 公民館施設管理・事務 | 4 | |
| 2 | 公民館運営委員会 | 5 | |
| 3 | 公民館講座 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 各公民館が地域の絆を深め人々のふれあいの場として多くの行事や講座を実施している。また、町民の相談窓口や避難所としての機能を果たしている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---|
| 公民館の業務は貸館業務以外にも講座や各種委員会の案内や準備、イベント・行事の準備・運営、補助金申請やホームページの更新、各部署からの依頼業務など多様な事務を行いながら来館者への対応を行っている。夏場の熱中症対策として公民館が指定暑熱避難施設(クーリングシェルター)に指定されるなど、公民館が地域住民にとってより身近で訪問しやすい場所となるよう、公民館職員は住民に寄り添った対応が求められる。地域づくりの中心として求められるものが多くなっており、職員の資質向上のための研修や学習機会等が必要となっている。 |
|---|

【No. 26】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 公民館施設管理事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|-----------------|
| 各公民館施設の維持管理を行う。 |
|-----------------|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|-----------------------------|-----------------------------|
| 15, 324(管理12, 783+工事2, 541) | 19, 274(管理14, 404+工事4, 870) |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------|----|-------|
| 1 | 施設管理・修繕 | 4 | |
| 2 | 施設整備工事 | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 老朽化による維持管理費の増大はやむを得ない中で、利用しやすい施設であるよう維持管理をし、計画的に適切な修繕をしている。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>破損箇所の修繕等を計画的に実施しているが、漏水や空調機・消防設備の故障等で工事費用が増大している。また燃料費や電気料といった光熱費の高騰により施設管理に係る費用も増大している。</p> <p>地域住民の高齢化に伴い、施設のバリアフリー化やユニバーサルデザイン化を進めていく必要があり、計画的に実施していかなければならない。</p> |
|--|

【No. 27】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 図書館管理運営事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

田布施図書館を読書活動の拠点施設とし、良書の確保、資料の収集・整理に努める。また、移動図書等による幼稚園・保育園・学校等との連携、ボランティアと協働した活動により読書活動の普及・啓発を図る。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 17, 297 | 18, 407 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|---------------|----|-----------------|
| 1 | 資料収集・管理業務 | 5 | 子ども読書活動推進業務 |
| 2 | 資料提供業務 | 6 | イベント業務 |
| 3 | 相互貸借・レファレンス業務 | 7 | 学校図書館支援業務 |
| 4 | 移動図書館・団体貸出業務 | 8 | ボランティアとの連携・協働業務 |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 学校図書館に町立図書館と同じシステムを導入したことは良かった。児童生徒の読書への課題を把握し、読書意欲を引き出してほしい。読書活動の推進に向けて、各年代や興味関心等に応じた環境が整えられており、各種事業に多くの工夫が見られ、より良いものになることが期待できる。 |

5 事務事業の今後の課題

今後も、引き続き良書を確保し、資料の収集、整理に努める必要がある。

これまで協働してきたボランティアの高齢化や、学生ボランティアの活動縮小などで、お話会の担い手の確保に苦慮している。図書館のイベントに不可欠であるボランティアに携わる人材の確保、育成が課題である。

学校図書館に田布施図書館と同じシステムを導入した。学校との連携を深め、支援・協力を推進していく必要がある。

【No. 28】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 郷土館管理運営事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| 岸信介・佐藤栄作兄弟宰相を中心に、本町ゆかりの人物の遺品・遺作等を展示公開し、また、国森、後井などの古墳・遺跡からの出土遺物等の展示を通して、郷土の歴史と文化に対する理解を深め、文化の向上を図る。 |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 7, 079 | 7, 561 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--------------------|----|-------|
| 1 | 山口県埋蔵文化財巡回展(講演会含む) | 4 | |
| 2 | 田布施町埋蔵文化財巡回展 | 5 | |
| 3 | 学習支援 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 企画展・特別展として郷土館はもとより各公民館の巡回展は太古の田布施町を知ってもらう良い機会になったと思われる。来館者の増加は運営努力の成果である。児童の学習の場としての活用もあり、さらに展示など工夫を凝らしてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|---|
| 令和6年度の来館者数は789人と前年度比較で77人増となった。常設展示の模様替えは行っていないが、企画展を立案することで、郷土館を知り、来館していただけるような工夫をしていく。田布施町の歴史について学習してもらう機会については、各学校からの依頼により、民俗資料を中心として実演を交えて解説を行っている。今後も郷土館を活用してもらえよう周知を図る。 |
|---|

【No. 29】

| | | | |
|------|-----------|-----|-------|
| 事務事業 | 埋蔵文化財調査事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|-----------|-----|-------|

1 事務事業の概要

国営緊急農地再編整備事業に伴う発掘調査の報告書を刊行する。
周知の埋蔵文化財包蔵地における開発事業計画等の申請事務等処理する。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 20, 724 | 14, 038 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|----------------------------------|----|-------|
| 1 | 南周防農地整備事業麻郷奥団地埋蔵文化財発掘調査とりまとめ委託業務 | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| B | 報告書の刊行が一部遅れ、事業予定の変更が必要になった。歴史的価値のある発掘がなされているので、予定どおりに遺跡分の報告書を仕上げてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

当初予定していた報告書の内、1 遺跡分の報告書において刊行が年度内に間に合わない事が生じた。これについては、令和7年度に発行を予定している。

【No. 30】

| | | | |
|------|--------|-----|-------|
| 事務事業 | 町史編修事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|--------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| <p>田布施町史の編修を行う。</p> <p>令和3年度から行ってきた町史編修事業の田布施町史平成版を令和8年1月末までに刊行する。</p> |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 216 | 3, 847 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|----------------|----|-------|
| 1 | 「田布施町史平成版」編修業務 | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| B | 編集スケジュールの遅れを改善するため、事業計画の見直しが必要になっている。計画どおり形にして活用してほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>委託業者の資料の読み込み、執筆、チェック体制の不備等が起こり遅れが生じた。</p> <p>協議を重ねた結果、当初スケジュールを1年延伸することで、令和8年1月に刊行できるスケジュールと体制が確保された。スケジュールの遅れが生じないよう進行管理を行う。</p> |
|--|

【No. 31】

| | | | |
|------|--------------|-----|-------|
| 事務事業 | 麻里府公民館移転整備事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|--------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

麻里府公民館を新たに建築し、現在の場所から移転する。
令和8年3月供用開始予定

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | 140, 389 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--------------|----|-------|
| 1 | 麻里府公民館移転整備事業 | 4 | |
| 2 | | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | 計画どおり着実に実施できている。完成後、効果的な運用がスムーズにできるよう準備してほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

新麻里府公民館は令和7年11月に建屋が完成し、駐車場の舗装工事が令和8年2月に完了する予定となっている。そのため令和8年1月以降に備品を搬入し、2月末に引っ越し作業を行い、3月から共用開始となる。

移設後の管理運営が問題なく行えるよう、また、地域の拠点として積極的に利用してもらえるよう準備を進める。

【No. 32】

| | | | |
|------|--------------|-----|-------|
| 事務事業 | スポーツ推進体制強化事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|--------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

「生涯スポーツのまち田布施」の実現のため、スポーツ推進委員が中心となり年齢、体力に応じたスポーツ活動への参加、参画を啓発し、関係団体と連携しスポーツ活動の機会の充実を図る。また、スポーツ団体指導者の研修、ボランティアの育成など人材育成に努める。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 550 | 470 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-------------------|----|-------|
| 1 | 山口県スポーツ推進委員研修会 | 4 | |
| 2 | 町スポーツイベントでの指導及び協力 | 5 | |
| 3 | 町スポーツ推進委員会 | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | スポーツ推進委員の資質向上のための施策ができている。委員の世代交代にも配慮がなされている。ニュースポーツ等を取り入れ町民のスポーツ普及に取り組んでいる。さらに指導者の人材育成や町民への更なる広がりを目指して取り組みを進めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

スポーツ推進委員の活動でモルックやピックルボール等のニュースポーツの普及に取り組んでいる。
地域スポーツにおいて重要な役割を担うスポーツ推進委員について、国や県が開催する講習会へ参加し、委員の資質向上を図るとともに、令和7年度で現在のスポーツ推進委員の任期が終了となるため、引き続き、新たな人材育成・確保に向けて、様々な年齢層を含めた委員構成ができるように取り組んで行く。

【No. 33】

| | | | |
|------|------------|-----|-------|
| 事務事業 | 生涯スポーツ推進事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

全ての町民が様々な形でスポーツに関わり、健康で生きがいを感じることができる「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指し、町民一人ひとりの年齢と体力に応じて「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツを楽しみ、スポーツを楽しむ活動に参加できるように充実・発展に向けた取組みを継続する。
令和6年度は田布施川桜まつりロードレース大会の6年ぶりの開催に向けて取組んでいる。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 3, 133 | 3, 107 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-------------------------------------|----|---|
| 1 | 町内駅伝競走大会 (田布施体育協会) | 4 | 結団式、ジュニアリーダースクール (田布施町スポーツ少年団) |
| 2 | たぶせスポーツまつり (たぶせスポーツまつり実行委員会) | 5 | 田布施川桜まつりロードレース大会準備作業 (田布施川桜まつりロードレース大会実行委員会) |
| 3 | 会員親睦交流事業、幼児・小学生水泳教室 (田布施スポーツクラブ) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 少子・高齢化のなかスポーツイベントを開催し町の活性化に貢献できている。町民のスポーツへの参加を増やすために桜まつりロードレース大会や町内駅伝大会等企画運営に力を入れている。 |

5 事務事業の今後の課題

生涯スポーツの推進に関して、重要な役割を担う田布施体育協会、田布施スポーツクラブ、田布施町スポーツ少年団等のスポーツ団体は、子どもから高齢者まで幅広く日常的にスポーツ活動に取り組んでいる。しかしながら、近年、会員・団員の減少、指導者の確保といった課題があり、支援や活性化に向けて更に取り組んで行く。一方で、諸団体と連携して6年ぶりに開催した田布施川桜まつりロードレース大会も含めて、引き続き町民のスポーツの参加機会として「たぶせスポーツまつり」「町内駅伝大会」等のイベントの開催に取組み、田布施川の桜並木を活かしたイベントづくりを心がける。

【No. 34】

| | | | |
|------|--------------|-----|-------|
| 事務事業 | 我がまちスポーツ推進事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|--------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

| |
|--|
| <p>「生涯スポーツのまち田布施」の実現を目指す一つの取組として、ウォーキングの普及を図る。</p> <p>田布施スポーツクラブを通じて、年1回のウォーキング大会を開催し、魅力再発見ウォーキングを定期的に開催している。（事業費は田布施スポーツクラブで拠出）</p> |
|--|

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| — | — |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|-------------|----|-------|
| 1 | ウォーキング大会 | 4 | |
| 2 | 魅力再発見ウォーキング | 5 | |
| 3 | | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|---|
| A | ウォーキングを「我がまちスポーツ」として啓発、普及によく努力している。地域を知る良い機会となり町の活性化につながると思われる。マップの活用や自然や文化のふれあいの中でウォーキングを通して人との交流や町の魅力を伝えてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

| |
|--|
| <p>ウォーキングを「我がまちスポーツ」とし、スポーツクラブの活動を通じて、令和6年度は「魅力再発見ウォーキング」25回開催し参加者は436人、「ウォーキング大会」を年1回開催し参加者は40人となっており、ウォーキングの啓発・普及・定着に努め、地域交流活動の促進と地域活性化を図っている。</p> <p>引き続き、町内のウォーキングコース図「魅力再発見ウォーキングマップ」を活用し、町内外のより多くの人が自然や文化に触れながらスポーツに親しむことができるよう取り組む。</p> |
|--|

【No. 35】

| | | | |
|------|----------------|-----|-------|
| 事務事業 | スポーツセンター管理運営事業 | 担当課 | 社会教育課 |
|------|----------------|-----|-------|

1 事務事業の概要

施設を安全・快適に利用できるよう、修繕等に努め、円滑に管理・運営を行う。
令和6年度は第1体育館(B&G 海洋センター)の大規模改修工事を実施した。

2 事務事業のコスト

単位:千円

| 令和5年度決算額 | 令和6年度決算額 |
|----------|----------|
| 21, 561 | 105, 174 |

3 事務事業を構成する業務

| No | 業 務 名 | No | 業 務 名 |
|----|--|----|---|
| 1 | 田布施町スポーツセンター第1体育館大規模改修工事(建築)(電気設備)(機械設備) | 4 | 施設管理委託(消防設備点検、電気保安管理、浄化槽管理、清掃業務、水質検査等) |
| 2 | 田布施町スポーツセンター第1体育館設計監理業務 | 5 | スポーツセンター備品購入(H型プールフロア K-3080、全自動式プール掃除機等) |
| 3 | 施設修繕(第1体育館排水管改修工事、B&G 体育館プール救護室電源工事等) | 6 | |

4 事務事業の評価

| 評価 | 主な理由 |
|----|--|
| A | 第一体育館の大規模改修工事が完成し利用者が安心して利用できる。老朽化が激しい施設についても、多数の町民が利用している。小学校の水泳事業の受け入れもあり、より安全性利便性に配慮した施設の維持管理に努めてほしい。 |

5 事務事業の今後の課題

令和6年度の施設利用者数は65, 680人で、令和5年度より利用者が増加した。
昭和50年代から昭和60年代に整備された施設が多く、老朽化が進んでいるが、令和6年度はB&G財団の助成を活用して第1体育館(B&G 海洋センター)の大規模改修工事を実施した。
一方で第2体育館のLED化や弓道場、グラウンドトイレ、海洋センタープール等の改修等の検討を進める必要があり、比較的大規模な改修については、田布施町公共施設個別施設計画に沿いながら、補助金活用の検討を進めて行く。また、駐車場についてはイベントによって近隣地を借用した際には不足がないが、借用しない場合は不足が生じ、課題となっている。令和6年度は小学校の水泳授業の2校の受入を実施した。令和7年度は町内小学校4校の水泳授業の受入を行っている。適切なプール運営に努める。また、必要に応じて、安全にスポーツ施設を利用できるように計画的に修繕等を行う。

4 今後の取組について

教育委員会においては、令和6年度までの事業の成果と課題を踏まえつつ、「第6次田布施町総合計画」及び「田布施町教育振興基本計画」に基づき、田布施町の教育の充実に努めてまいります。

とりわけ、学校教育にあつては、複雑で予測困難なこれからの時代を生き抜いていく子どもたちが、夢や志をもち、多様な人々と協働して、豊かな人生を切り拓いていく力を育むことができるよう学校教育の充実に努めてまいります。

また、社会教育においては、町民一人ひとりが生きがいをもち、活力ある地域社会を築いていけるよう、生涯にわたる学びを支援する環境づくりに努めるとともに、学校・家庭・地域が連携・協働した教育の拡充に努めてまいります。